

水産業再生ニュース（第 10 号）

平成 27年 1月16日
仙台地方振興事務所水産漁港部

1 平成26年の塩竈市魚市場の水揚げ状況

・平成26年（平成26年1月から12月）の水揚量は、数量で17,966トン、金額では8,442,123千円となり、前年と比較して、数量で282トン、金額でも844,471千円の減少となりました。

これは、主要な漁業である鮪延縄漁業や鰹・鮪旋網漁業の水揚が例年に比べ低調であったことに加え、遠洋トロール漁の減少によるものです。

塩竈市魚市場水揚げ状況（平成26年1～12月累計）

区 分	平成26年		平成25年		対 比	
	数量（トン）	金 額（千円）	数量（トン）	金 額（千円）	数 量	金 額
1～12月の累計	17,966	8,442,123	18,248	9,286,594	98%	91%
（うち12月）	(1,225)	(675,696)	(2,512)	(1,233,261)	(48%)	(55%)

2 第六十七回奉獻乾海苔品評会が開催されました

・平成27年1月6日（火）に鹽竈神社において、第67回奉獻乾海苔品評会審査会が開催されました。審査会には県内から118点の選りすぐりの乾海苔が出品され、厳正な審査の結果、優勝は宮城県漁業協同組合七ヶ浜支所の齋藤吉勝さん、準優勝も七ヶ浜支所の佐藤健一さんに決定しました。

・1月11日（日）には、多数のマスコミの取材が行われる中、鹽竈神社御神前において表彰式が開催され、受賞者に賞状が授与されました。

優勝・準優勝の乾海苔については、近々受賞者同行の上、皇室へ献上される予定です。

なお、壹等賞入賞者（6名）は下記のとおりです。

本田 巧（石巻湾支所）、木村 清一（仙南支所）、門馬 猛（宮戸支所）、佐藤 弘（七ヶ浜支所）、三浦 一郎（矢本支所）、三浦 正洋（矢本支所）。

貳等賞以下の入賞者については、多数のため紙面の都合上、割愛させていただきます。入賞されました皆様、おめでとうございます。



優勝・準優勝した乾海苔

3 荒浜漁港の復旧状況について

・互理町の荒浜漁港では、現在すべての係留施設が完成し船舶の係船が可能となっております。

この度、南導流堤の復旧工事が完成しました。

現在は、引続き北導流堤の復旧工事を行っております。

また、北導流堤先端部の災害復旧工事・突堤岸壁工事・泊地浚渫・鳥の海の作濬工事について、発注公告を行っておりますので、関係者の方には引き続き工事へのご協力をお願いします。



完成済み 係留岸壁



施行中 北導流堤 L=258m



今回完成 南導流堤 L=645m

